

2026 年度事業計画

当研究所は、地質学や地球物理学等を基盤とする総合地球科学，ならびに環境，防災，建設等社会発展に係る科学・技術の融合的な研究を進めて複合的な地球システムへの理解を増進し，その研究等の活動を継承する専門家の教育・人材育成及び研究助成活動を行うとともに広範な国際交流を通して，これらの先進的成果を社会に広く普及せしめ，もって社会の持続的な発展に寄与することを目的として，〔研究事業〕〔普及事業〕〔育成事業〕〔助成・顕彰事業〕の4つの事業を行っている．以下，事業ごとに計画を示す．

1. 研究事業

複合的地球システム及びその社会とのかかわりに関する研究及び技術開発を実施し，国際交流とあわせてその成果を公表し，学術及び科学の振興に寄与することを目的とする事業である．2026 年度も，研究員が主体的に選択した研究課題について，所外の研究者とも協力しながら，自主研究費ならびに科研費などの競争的研究費等を利用して研究を進める．

1.1 研究・技術開発

以下に，2026 年度に計画する研究課題と担当者を示す．

【地質・地質構造に関する研究】

- 1) 花崗岩の冷却節理と風化様式に関する研究（千木良）
- 2) コンクリーションの形成メカニズムに関する研究（村宮）
- 3) 白亜紀アンモナイト類の分類学的研究（村宮）
- 4) 中生代アンモナイト類の進化・古生態学的研究（相場）
- 5) GIS を用いた地質情報の可視化に関する研究（金子）
- 6) 高レベル放射性廃棄物（HLW）地層処分にに関する地質的研究（千木良）
- 7) 関東平野東部の堆積段丘の形成過程に関する研究（岡崎）
- 8) 海底堆積物の化学組成を基にした中新世以降の古海洋環境復元（関）
- 9) 全岩化学組成に基づく沈み込み帯物質移動の推定法の開発（副島）
- 10) 炭酸塩堆積物の堆積作用と続成作用に関する研究（松田）
- 11) 地形・地質遺産の地域社会への活用に関する研究（松田）
- 12) 3D露頭ワールドの構築と拡大のための研究（梶原）

【斜面災害に関する研究】

- 13) 湿潤変動体の地質災害に関する研究（千木良）

【物理探査と岩盤工学に関する研究】

- 14) 岩盤構造物の性能評価に関する研究（亀村）

- 1 5) 不連続性岩盤内における流体・物質移動現象の定量的評価技術に関する研究 (下茂)
- 1 6) 超高精度微量ガス測定技術の地質工学および産業分野での活用に関する研究 (下茂)
- 1 7) コア変形法の高度化と岩石物性に関する研究 (船戸)
- 1 8) 岩盤応力測定法の高度化および地殻応力の評価に関する研究 (横山)
- 1 9) 機械学習と統計を用いた探査データの解釈についての基礎的研究 (磯 松岡 亀村)
- 2 0) 岩盤挙動予測へのデータ同化手法の適用に関する研究 (奥野)
- 2 1) 地震防災教育に関する模型教材開発の歴史と教育方法の研究 (梶原)
- 2 2) 地盤構成物質の誘電特性に関する研究 (鈴木)
- 2 3) 宇宙線ミュオグラフィのための新型検出器の開発 (鈴木)

【石油・ガス資源開発に関する研究】

- 2 4) 二酸化炭素の地中貯留や石油増進回収技術における基礎的検討 (松岡)

1.2 受託研究

科研費を含む競争的研究資金や委託等による研究・開発を実施する。研究で得られた成果は積極的に国内外の学会・雑誌に発表する。具体的には、日本地質学会、日本応用地質学会、日本地球惑星科学連合大会、岩の力学連合会、地盤工学会、物理探査学会、資源素材学会、日本地震学会、日本材料学会、土木学会、AGU、SEG、EAGE、ITA、ISRM、EUROCK、USROCK 等で発表する予定である。また、深田地質研究所年報に研究成果等を取りまとめ、発刊する。

1.3 研究委員会

下記の研究委員会は 2025 年度で終了するが、2026 年度から再度 3 カ年の計画で開始する。

- ・「深田研地殻応力経年変化研究委員会」(委員長：坂口清敏東北大学教授)

1.4 研究不正防止計画

最高管理責任者が策定した「研究不正防止に関する基本方針」に基づき、研究活動における不正防止のための具体的な対策として、以下の事項を実施する。

- ・研究職及び事務職全員を対象とした研究倫理に関する e ラーニング (年 1 回)
- ・コンプライアンス教育・啓発活動 (随時)
- ・不正防止に関する規程、運用ルールの周知 (随時)

2. 普及事業

地球システムにかかわる内外の研究・技術開発の現況や成果を広く紹介し、その内容等の一般への普及・啓発を目的とした事業で、2026 年度は下記の事業を行う。

2.1 深田研談話会の開催

深田研談話会を対面とオンラインのハイブリット開催とする。

2.2 深田研一般公開 2026 の開催

2026 年 10 月に開催する。

2.3 深田地質研究所ニュースの発行

奇数月末に発行する。

2.4 その他の普及事業

- 1) ジオ鉄をテーマとした地球科学の普及
- 2) 作って楽しむアンモナイトアクセサリー化石レプリカの簡易作成方法と地学教育普及活動ー
- 3) 化石貸出による理科授業の支援
- 4) その他

3. 育成事業

複合的な地球システムの研究者の育成に寄与するために行っている事業である。2026 年度は下記の事業を行う。

3.1 深田研講座 2026 の開催

4 月にオンライン形式で開催する。

3.2 その他の育成事業

4. 助成・顕彰事業

4.1 助成事業

複合的な地球システムの研究に取り組む若手研究者の研究を助成するために、下記の事業を行う。

1) 2026 年度「深田研究助成」

- ・募集期間：2025 年 12 月 1 日から 2026 年 2 月 2 日 16 時
- ・助成選考委員会の審議を経て、4 月中に採択者を公表する。

2) 2026 年度「深田野外調査助成」

- ・募集期間：2026 年 2 月中旬から 4 月上旬
- ・助成選考委員の評価採点を集計後、5 月中に採択者を公表する。

4.2 顕彰事業

1) 2026 年度「深田賞」

複合的地球システム及びその社会とのかかわりに関して著しい功績が認められる個人または団体を対象に顕彰を行う。概略のスケジュールは以下のように計画している。

4月1日	募集開始
6月末	応募締め切り
8月末	顕彰選考委員会による選考
10月中旬	受賞者公表
年度内	授賞式および受賞記念講演

5. その他

・図書室の整備

昨年度に引き続き、深田研図書室所蔵の重要資料（設立許可書、設立申請書、旧深田研報告書、等）の整備、修復作業を行う。

以上